

# 荒川で ちょっといいこと ゴミ拾い

子どもたちに豊かな自然環境を残そう





# 荒川は、今

首都圏を流れる荒川。  
奥秩父から埼玉県・東京都を流れて東京湾に注ぎ込む荒川は、  
流域に約一千万の人々が暮らし、  
飲み水や、生き物を育むなどの恩恵を受ける大切な川です。

荒川の河川敷には植物が茂り、  
虫や鳥、魚など生き物たちにとっては貴重なすみか。  
またそこにすむ生き物たちには、  
荒川の水をきれいにする大切なはたらきがあります。

## 【荒川DATA】

長さ:173km

流域面積:2,940km<sup>2</sup>

流域人口密度(下流部):約9,200人/km<sup>2</sup>(日本最大)

河川利用者:年間約2500万人(日本最大)



ところが・・・ヨシの間にはゴミが溜まり、  
生態系への悪影響ははかりしれません。

数えきれないほどのペットボトル、  
誰かが不法に捨てた大型家電、  
野菜が腐ったようなヘドロの臭い・・・  
今、荒川の生態系は助けを求めています。





## 私たちは「拾う」ことから、はじめています

みんなで荒川のゴミを拾って、自然を取り戻す。  
それが、“荒川クリーンエイド”です。

### Clean (きれいな) + Aid (助ける)

- 河川敷の様々な場所で、様々な人たちがゴミを拾いながら、川のゴミや水質、自然回復などの問題を考え、自然を取り戻そうと活動しています。
- 荒川クリーンエイドは、1994年から始めて15年以上継続しています。この間、河川敷の粗大ゴミは減り、ヨシ原が復活した場所もあります。しかし、川を流れてくるゴミは後をたらず、継続的な活動が求められています。
- 近年は、総合学習としての小中学生の参加や、奉仕活動としての高校生の参加、そして社会貢献活動としての企業社員の参加など、様々な年代の様々な主体が参加する活動へと広がっています。



### 年間100会場、10,000人参加を達成

- 荒川クリーンエイドは、自治体、企業、学校、市民団体など様々な団体が「実施団体」として参加者を募り、秋の荒川クリーンエイド月間を中心に、各会場(各地)で主体的にゴミ拾いをしています。
- 活動範囲は、上流の秩父市から東京湾の東なぎさまで広がり、その数は年間で100会場にもなり、年間合計1万人以上が参加する活動となっています。
- 各会場で、参加者はゴミを数えながら拾います。集めたゴミは各市区や国土交通省荒川下流河川事務所などと連携して処理をします。集計したゴミのデータはNPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムが全会場分を集約しています。

【荒川クリーンエイドのしくみ】



### ゴミ拾いを通じて、環境保全意識の向上を!

- 荒川クリーンエイドでは、「行政」「企業」「自治体」などとのパートナーシップを実現しながら、ゴミ拾いを通じて、川の自然や、川から見えてくる環境問題について考え、市民の環境保全意識を高めることを目指しています。
- そして川づくりへの市民参画を推進します。

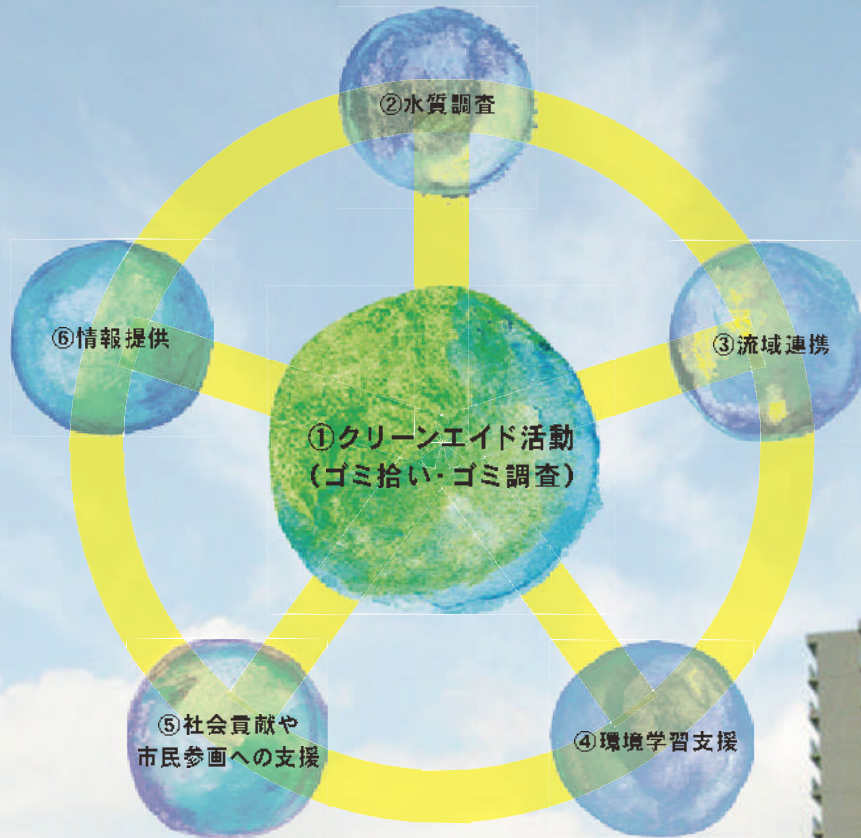




# 解決には、総合的な活動が必要！

川は絶えず流れ、恵みも禍ももたらします。  
川に親しみ、川に関心を持ち、  
川の環境を良くしていくことが大切です。

さまざまな活動を通して、  
川や地球環境を考え行動する人の輪が広がるよう  
NPO法人荒川クリーンエイド・フォーラムは活動しています。



## 【バック大捜査網】

さあ、みんなでUFOを呼ぼう！  
・・・というのは冗談で、これは「あらかわ楽習」のひとつです。  
バックを輪の中心に追い詰め、やさしく捕まえて観察します。



# 活動内容を、ご紹介します

ゴミ拾い・ゴミ調査を中心に、様々な活動を実施し、  
総合的に荒川の環境を考え、市民の意識の向上をはかっています！

## 1 拾うことから見える世界があります クリーンエイド活動(ゴミ拾い・ゴミ調査)

荒川クリーンエイドでは、種類別にゴミを数えながら拾います。ゴミの種類と数を確認することで、参加者一人ひとりに気づきをもたらします。

また、その調査結果を活かして、ゴミの発生をおさえ、ゴミのない社会を目指します。

単なる景観美化(クリーンアップ)にとどまらず、

- ・自然を取り戻すことが目的であること
- ・ゴミを数えながら拾っていること

が本活動の特色で、一般的な「ゴミ拾い」と異なる点です。



▲「ゴミゼロ!パンザーイ!」って、ハサミ振り上げたいッス」byアカデガニ  
◆「これは燃えないゴミ?」メンバーと声をかけあい、ゴミを拾って集計します。

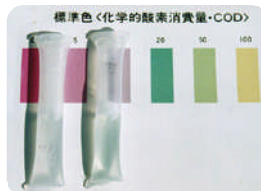
## 2 川にも健康診断が必要です 水質調査

6月と秋のクリーンエイド時に、荒川本流と支流で水質調査を行い、結果を公表しています。

市民の手で川の健全性を調べ、身近な川の水質への関心を高めています。



▲荒川の水ってきれいかな?



▲試薬を使い、汚れ具合を調べます

## 3 上から下まで、力をあわせて問題解決 流域連携

荒川源流や中流域のエコツアー、下流域の干潟などで自然観察会を行っています。さらに、流域全体の市民が連携して荒川の問題を考える「荒川流域水環境シンポジウム」を実行委員会で開催するなど、流域交流を続けています。



▲源流を訪れ、源流の自然を体感!



▲流域みんなで荒川を考えます

## 4 「学」よりも「楽」を大切に 環境学習支援

小中学校の総合学習支援や、指導者育成講座の開催、「あらかわ楽習実践ガイド」「荒川遊学ガイド」等の発行を通じて、荒川を利用した水辺の学習を支援しています。

また、川で安全に遊び学べる子どもたちの育成のために自然観察会やエコツアー等を開催しています。



## 5 15年以上の実績と経験で、サポートします 社会貢献や市民参画への支援

荒川クリーンエイドへの参加や各種研修などを通じて、企業や自治体等で働く人自身が社会性を発揮する場を提供しています。

ご好評につき、社員研修プログラムの対象企業を拡大募集中です。詳細ご希望の方には、別紙資料をご用意しております。



【過去実施企業(一部)】

日興シティグループ証券(株)、三井住友銀行、(株)ローソン、ライオン(株)、GE Money、GEキャピタルリーシング(株)、(株)日立ビルシステム、(株)ダイエー、足立成和信用金庫、NTT東日本埼玉グループ(順不同)

## 6 情報提供

毎年発行する荒川クリーンエイド報告集や子ども報告集、ニュースレター、Eメールニュース、ホームページなどを通じて、活動の状況や成果を広報しています。





## 子どもたちに、自然豊かな荒川を

荒川クリーンエイド・フォーラムは、未来を担う子どもたちのために  
次のような社会的意義と役割を持って活動していきます。

### ① 身近な川をきれいに 環境美化の実践

- ゴミを拾い、周囲がきれいになることは、誰にとっても気持ちの良いもの！
- 一人ひとりのちょっとした行動が社会に貢献します。



before



after

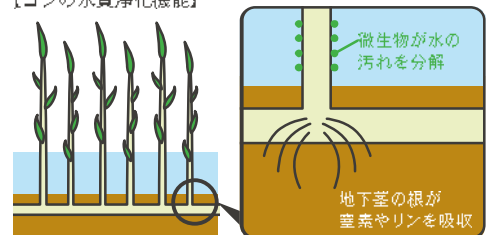
### ② 自然の回復 生物多様性への貢献

- **生き物たちを守る**  
ゴミを拾うことで、ゴミのために苦しめられている生き物たちを守ります。
- **生態系の回復**  
連続する河川数の自然のネットワークは、周辺の自然地とのネットワーク  
拠点となります。ゴミを拾ってヨシ原や干潟を回復することは、都市の生  
態系の回復にも貢献します。
- **水の浄化**  
ヨシ原や干潟には、水を浄化する働きがあります。その機能を阻害するゴ  
ミを取り除き、ヨシ原や干潟が元気になれば、荒川や荒川が注ぐ東京湾の  
水の浄化につながります。
- **東京湾や世界の海を守る**  
川は上流から中流、下流、海へとつながっています。荒川のゴミは東京湾  
に流れ込み、さらには世界の海を漂うこととなります。荒川でゴミを拾う  
ことは、東京湾や世界の海を守ることにもつながっています。



▲ヨシ原で育まれるオオヨシキリのヒナ。  
広く元氣なヨシ原があるからこそ、こうした小さな命が育まれます。

#### 【ヨシの水質浄化機能】



▲ヨシは、荒川下流域で多く見られる代表的な植物です。水中の茎部分に付いている微生物が、水の汚れを分解します。また、地下茎から伸びる根を通して水質汚濁の原因である窒素やリンを養分として吸い取るなど、水を浄化するはたらきを持っています。

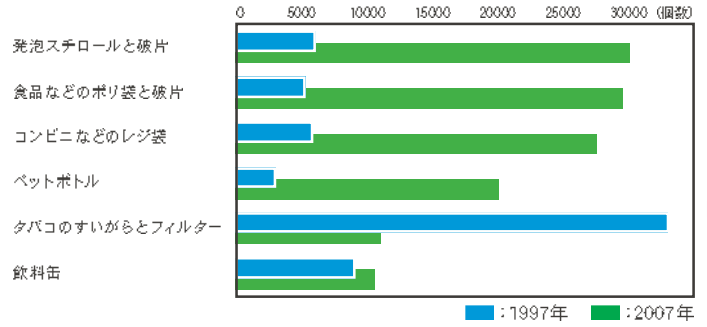


### ③ ゴミ問題を考えるきっかけづくり

#### 低炭素社会への転換促進

- 河川敷に散乱する大量のゴミを目の当たりにし、それを数えながら拾うことで、いろいろな気づきを得られます。日常生活に溢れる容器包装や、大量生産・大量消費・大量廃棄の社会システムを考える契機になっています。
- 集計したゴミの数は、社会を反映して表示されます。これらの蓄積されたデータを基に、皆でゴミ問題を考え、ライフスタイルを考えます。

【10年前との比較(散乱ゴミ)】



### ④ 身近な自然や環境について考え、行動する人づくり

#### 行動できる人材の育成

- まずは、荒川クリーンエイドに参加してゴミを拾い、川の自然に親しんでみましょう。
- **環境を考える人材の育成**  
ひとたび体験することで、“川の自然を保全していこう!” “地球環境のことを考えていこう!” と環境意識が高まります。



- **社会性を考える人材の育成**  
市民として身近な環境や地球環境を考え、行動できる人を育成します。

#### 参加者・協力者からのメッセージ

実施1時間程度ではありましたが、いっばいに並べられたゴミ袋を前に環境保全の大切さを参加者一人ひとりが実感。日々の生活の反省と改善に向けた契機を与えてくれたものと思います。その一方で荒川ならではの生物観察などは子どもたちにも好評でした。清掃活動を通じて自然に触れ合う大切さを誰もが感じたのではないのでしょうか？

日興シティグループ証券株式会社  
今吉さん

参加企業より



国土交通省荒川下流河川事務所は、ゴミ問題を重要な課題として様々な取組みを実施しております。その中で、地域住民と行政が一体となってこの問題を地域共有の問題として取り組んでいくために『荒川下流部ゴミ対策アクションプラン』を策定しています。その中心として、きれいで自然豊かな荒川を取り戻そうと活動を続けている荒川クリーンエイド・フォーラムの活動に期待しています。

協力者より

国土交通省荒川下流河川事務所  
管理課 佐藤さん

荒川クリーンエイドをやってみて、ゴミがたくさんありました。荒川には、ゴミがなければ植物や生き物がたくさんいるように、きれいな川になるといいと思います。

葛飾区立小松南小学校  
6年生より



わたしは、はじめてあらか川クリーンエイドにさんかしました。行く途中にふじ山が見えました。とてもきれいでした。ゴミ拾いで多かったのは、たはこのすいがらやスーパーのふくろでした。どっからヤスパーがすててあ、た事したのは、自転車車がすててあ、た事です。またあらか川クリーンエイドにさんかしたいです。

板橋区立金沢小学校6年生より



# あなたの助けを必要としています

荒川クリーンエイドは、初めてのボランティア活動に最適です！

おひとりからでも、数百人規模の大人数でも、一回だけでも大歓迎。

あなたのご支援が必要です。

## 荒川クリーンエイドに**参加**するには・・・

### ① クリーンエイドに個人として参加

- “一般参加OK”の会場は、どなたでも自由にゴミ拾い・ゴミ調査に参加いただけます。
- 荒川クリーンエイドでボランティアの第一歩をはじめませんか？
- ※会場は、秋のクリーンエイド月間用リーフレットや、
- ホームページ (<http://www.cleanaid.jp/>) で紹介しています。
- ※大人数で参加される場合は事前に事務局までご連絡ください。

### ② クリーンエイドに団体として主体的に参加

- 毎年10～11月を「荒川クリーンエイド月間」として、多くの会場で
- この期間に一齐にゴミ拾いを実施します。
- 企業・学校・各種グループなどの仲間を募ってご参加ください。
- ※実施のための説明会を9月に開催しますので初めてでも大丈夫！
- 団体が「実施団体」として主体的に参加される場合はこの期間をお勧めします。

### ③ 団体が独自にクリーンエイド開催（通年）

- 秋のクリーンエイド月間内でもその他でも、会場の選定から準備まで事務局と
- 相談しながら独自開催を希望される場合は、年間を通していつでもご参加ください。
- ※ただし、コーディネート料をいただく場合があります。
- 詳しくは事務局までお気軽にお問い合わせください。

### ④ 社員研修として参加

- 主に新入社員を対象とした研修を実施します。企業と市民団体と協働で
- 社会の課題の解決策を探ります。
- ※詳細ご希望の方は、別紙資料をご用意しておりますので、
- 事務局までお気軽にお問い合わせください。

## 荒川クリーンエイドを**支援**するには・・・

荒川のクリーンアップと自然回復を通して次の世代へ豊かな環境を渡すために、一人でも多くの方・団体のご支援をお願いいたします。

### ① 会員として参加・支援

- 荒川クリーンエイド・フォーラムは、会費や寄付金などで運営しています。会員となつての支援をお願いします。会員の方には、
- ニュースレターや情報、報告集をお届けします。

#### ■年会費

	個人	団体	※1口1,000円 となります
正会員	2口以上	10口以上	
賛助会員	1口以上	5口以上	

### ② 協賛として参加・支援

- 荒川クリーンエイドの趣旨などに賛同いただいた企業・団体からの協賛を募っています（1口5万円より）。
- ご支援よろしくをお願いいたします。



特定非営利活動法人 荒川クリーンエイド・フォーラム

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川3-35-13-204

TEL:03-3654-7240 FAX:03-3654-7256

E-mail:renraku@cleanaid.jp <http://www.cleanaid.jp/>

荒川クリーンエイドは1994年より活動をはじめ、延べ10万人以上が参加しています。

Panasonic NPOサポートファンド・助成事業によって制作しました／表紙写真：伊藤博隆



このパンフレットは、古紙パルプ配合率70%再生紙を使用し、インキ全体の20%以上を大豆油を主体としたインキで印刷しています。